



2018年3月20日

各 位

会 社 名



(証券コード 4541 東証第1部)

代表者名 代表取締役社長 田村友一

お問合せ先 社長室長 東満之

TEL 076-442-7026

### プラミペキソール塩酸塩錠 0.125mg/0.5mg 「日医工」

#### 効能・効果および用法・用量の追加のお知らせ

日医工株式会社は、プラミペキソール塩酸塩錠 0.125mg/0.5mg「日医工」につきまして、本日、下記の通り、「中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）」の効能・効果および用法・用量の追加に関する承認を取得いたしましたのでお知らせいたします。

これにより、先発医薬品と効能・効果および用法・用量が同一となります。

当社はジェネリック医薬品の普及のため、先発医薬品との「効能・効果」および「用法・用量」の違いを早期に解消し、患者様や医療関係者の皆様が安心してご使用いただけるよう取り組んでまいります。

#### 記

##### 【効能・効果】

1. パーキンソン病
2. 中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）

##### 【用法・用量】

###### 1. パーキンソン病

通常、成人にはプラミペキソール塩酸塩水和物として1日量0.25mgからはじめ、2週目に1日量を0.5mgとし、以後経過を観察しながら、1週間毎に1日量として0.5mgずつ増量し、維持量（標準1日量1.5～4.5mg）を定める。1日量がプラミペキソール塩酸塩水和物として1.5mg未満の場合は2回に分割して朝夕食後に、1.5mg以上

の場合は3回に分割して毎食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減ができるが、1日量は4.5mgを超えないこと。

2. 中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）

通常、成人にはプラミペキソール塩酸塩水和物として0.25mgを1日1回就寝2～3時間前に経口投与する。投与は1日0.125mgより開始し、症状に応じて1日0.75mgを超えない範囲で適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて行うこと。

（下線部追加）

以 上